

# 化学・生物総合管理の再教育講座(講義内容)

後期

科目No.	158	科目名	化学物質総合管理法4		サブネーム	環境政策		
共催機関名		レベル	中級		講義枠	土曜日	講義時間	10:00~11:30、11:50~13:20
科目概要	環境汚染や健康被害を防止し、自然環境や地球環境を保全するために進められている環境政策について、その歴史や全体像を概説するとともに、水環境、大気環境、廃棄物・リサイクルなどの分野ごとに、問題の現状、対策の枠組み、今後の課題などについて概説し、これからの環境保全対策をどのように進めていけばよいかを考えていく。							

サブタイトル	No.	講義名	講義概要	講義日	教室	講師名	所属	
環境政策の全体像	1	環境問題と環境政策の歴史	公害問題から地球環境問題に至る環境問題の歴史を振り返り、その中で成立してきた環境政策の基本的考え方や施策の変遷を概説する。(冒頭に全体の進め方を説明する。)	10月6日	共通講義棟 1号館301	早水輝好	環境省地球環境局	
	2	環境政策の基本的枠組みと環境基本法	現在の環境政策や環境行政の基本的な枠組み・体系を概説し、環境基本法及び環境基本計画の骨格を紹介する。	10月6日				
水環境等の保全	3	環境基準と水質汚濁防止法	水環境の現状を紹介するとともに、水環境保全施策の基本となる環境基準の設定の考え方と水質汚濁防止法の骨格を解説する。	10月13日		山本昌宏	環境省水・大気環境局	
	4	閉鎖性水域対策と土壌・地下水の保全	水環境保全施策の中で特に近年課題となっている湖沼や東京湾などの閉鎖性水域の保全施策と地下水・土壌の保全施策を概説する。	10月13日				
大気環境の保全	5	固定発生源対策	大気汚染の歴史と現状を概観し、大気汚染防止法等に基づく工場・事業場からの大気汚染削減の枠組みを解説する。	10月20日		戸田英作	環境省環境保健部	
	6	移動発生源対策	近年特に問題になっている移動発生源(自動車)による大気汚染を防止するための様々な取り組みを解説する。	10月20日				
地球環境の保全	7	地球温暖化対策	近年最も重要な課題となっている地球温暖化対策について、国際的な動向を紹介するとともに、京都議定書の削減目標達成のための国内施策を解説する。	10月27日		人間文化 607	高橋康夫	環境省地球環境局
	8	その他の地球環境保全対策	オゾン層の保護、酸性雨対策、海洋環境の保全など、様々な地球環境保全対策の現状と課題について解説する。	10月27日				
廃棄物・リサイクル対策	9	廃棄物の適正処理	家庭から排出されるごみ(一般廃棄物)や工場などから排出される産業廃棄物を適正処理するための仕組みと最近の動向について解説する。	11月17日	関谷毅史	環境省廃棄物・リサイクル対策部		
	10	循環型社会の構築	循環型社会の構築のための基本的考え方と、そのために導入されている様々なリサイクル制度について解説する。	11月17日				
化学物質対策	11	化学物質の環境リスク評価	化学物質による環境リスクを評価するための有害性試験、環境モニタリング、暴露予測の手法と我が国における実施状況について解説する。	12月1日	共通講義棟 3号館 1講105	戸田英作	環境省環境保健部	
	12	化学物質対策の国際的・国内的枠組み	化学物質管理に関する国際条約等の動向と、我が国における化学物質審査規制法、農業取締法、化学物質排出把握管理促進法等の制度について解説する。	12月1日				
自然環境の保全	13	自然環境の現状と自然環境保全施策の枠組み	我が国の自然環境の現状や推移について自然環境保全基礎調査などの結果をもとに紹介するとともに、自然環境保全施策の基本的枠組みを概説する。	12月8日	河野通治	環境省自然環境局		
	14	野生生物の保護	生物多様性の保全、外来生物対策など、近年次第に充実してきた野生生物保護のための様々な施策について解説する。	12月8日				
環境アセスメント	15	環境アセスメントの制度と運用	大規模な公共事業などを実施する前に環境への影響について調査・予測・評価を行い、住民などの意見を聴取する環境アセスメントについて、制度の骨格や事例を解説し、よりよい進め方を考察する。	12月15日	共通講義棟 1号館 102	早水輝好	環境省地球環境局	

2007/8/3 講師の変更、講義順序の変更。2007/9/14教室の決定。2007/10/19 11月17日の教室変更